

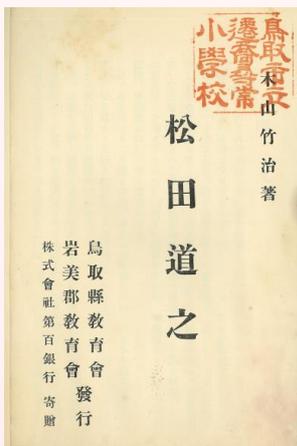
# 公文書館通信

Vol.10 (令和2年8月発行)

8月に入り今年も半分を過ぎました。上半期は新型コロナウイルス感染症のパンデミックや日本各地で豪雨災害が発生するなど日本全体が落ち着かない日々が続きました。下半期は、感染症が終息に向かい、災害のない平穏な日々に戻ることを願ってやまないところです。

さて、少し前の話になりますが、沖縄県の大学生から「鳥取藩出身の官僚 松田 道之 が藩校の尚徳館で学んでいたのか教えてほしい」とレファレンスがありました。

皆さん、松田 道之 (1839~1882) をご存じでしょうか？今回は松田について、当館所蔵の行政刊行物から少し触れてみたいと思います。



『松田 道之』  
鳥取県教育会・岩美郡教育会発行  
(鳥取県立公文書館所蔵)  
※教育会  
県知事が会長を務め、県の学務課とともに教育行政の中核を担った公的な性格が強い私立の団体。

## ～ 「松田 道之」の人となり ～

左の冊子は当館に所蔵されている鳥取県教育会・岩美郡教育会が1925年に発行した松田に関するものです。これには、少年時代のことから人柄や趣味、功績などが記載されています。

少年時代の松田の人柄について下記の通り記載されており、雄弁かつ温和で強いリーダーシップを持った人物像が浮かび上がります。

「道之幼時性温和にして、其の言行<sup>あたか</sup>恰も年長者の如くなりしを以て、人皆此を称賛せり。而して好んで軍戯をなすに常に主将を以て自ら任じ、他に之を譲らざりしと云ふ。」

当時、松田は高草郡秋里村(現鳥取市秋里)に住んでいました。少年時代には「山陰は蛟龍の潜むべきところにあらず」と詩を残して、家出のように遠遊しましたがすぐに兄に連れ戻されました。それ以降、鳥取藩校の尚徳館で文武の道を学び、17歳の時に国事奔走のため鳥取を飛び出しました。

## ～ 「松田 道之」の軌跡 ～

松田の軌跡で最も有名なものは「琉球処分(併合)」です。

「琉球処分(併合)」とは、1872年の琉球藩設置に始まり、1879年の沖縄県設置に至る一連の措置をいい、明治政府の内務大丞であった松田が中心的な役割を果たしました。

その後、松田は1879年に東京府知事に就任しました。

就任直後、明治年間最大級の火災「箔屋町(現中央区日本橋)大火」が起こったため、松田は炊出しや仮設住宅の建設を迅速に指示し、さらには火災予防のため道幅の拡張、防火壁の設置、建築物の制限など火災予防事業に力を入れ、現在の東京都の防災の礎を築きました。

しかし、琉球と本土を往復する激務に心身の健康を害していたのか、東京府知事に就任した3年後の1882年に満43歳で亡くなりました。



『松田 道之』から転載

○いかがでしたか？本県には他にも初代国連大使を務めた「澤田 廉三(妻の美喜は三菱財閥の創業者岩崎弥太郎の孫で孤児院エリザベスサンダースホーム創設者)」など偉人がたくさんいます。もし「澤田 廉三」にご興味がありましたら、『澤田 廉三と美喜の時代』(鳥取県立公文書館発行)をご覧ください。



○皆さんが所属で発行した刊行物も貴重な資料です。発行したときは公文書館へもご提供ください。今回は行政刊行物の提供について、改めてのご案内とお願いです。裏面どうぞ！

# \*行政刊行物の提供をお願いします\*

図書館と公文書館では、県民の調査・研究や貴重な郷土資料の保存・活用・提供に資するため、広く郷土資料や行政資料を収集しています。

郷土や行政に関心を持つ県民に対して、両館がこれらの資料を保存、提供していくことで県民が必要な時に必要な情報を得られるようになります。

また、**国立国会図書館法第24条の2**により、都道府県の諸機関は発行後、**直ちに納本することが義務付けられています。**

(平成31年4月25日付鳥取県立図書館長、公文書館長通知第201900028295号、第201900026235号参照)

## Check! 行政刊行物とは?

市販されていないもののうち、

### 県民等に公開することを目的として県が作成した印刷物等

□例えば、所属が作成した「〇〇の手引き」や「〇〇計画」、「〇〇報告書」などの印刷物が該当します。

□原則として、機密扱いのものや軽易なチラシなどを除く**すべての印刷物、CD-R・DVD等電子媒体の資料、電子資料を対象**とし、改訂版についても発行の都度納めてください。

□とりネット上で電子媒体のみで提供するデジタル刊行物も**極力印刷のうえご提供ください。**

※国、他の地方公共団体及びこれらに準ずる団体等が作成した印刷物等で県が取得し保有しているものであって本県の県政に関する重要な情報が記録されているものも可能であればご提供ください。

## Check! 提供する部数は?

行政刊行物の収集は**県立図書館(資料課)**が窓口となり行っており、**最低12部**(可能な場合は29部又は40部)ご提供をお願いします。ご提供していただいた行政刊行物は県立図書館が各館に配分します。

<配分先>

国立国会図書館	5部	} 12部	} 29部	} 40部
県立公文書館	2部			
県立図書館	3部			
米子市立図書館	1部			
倉吉市立図書館	1部			
その他の市町村図書館(本館分)	17部			
その他の市町村図書館(分館分)	11部			

## Check! デジタル刊行物の取扱いとは?

とりネットなどインターネット上で電子媒体のみで提供するデジタル刊行物は、発行したらまずは**デジタル刊行物登録データベースへの登録**をお願いします。登録した後、可能であれば12部印刷し図書館へご提供ください。



部	課	係	刊行物の名称	巻・号
▼(公財)鳥取県教育文化財団				
*	調査室		県文化財団調査報告書119 金剛家ノ上ノ内遺跡	
*	調査室		県文化財団調査報告書118 坂長第七遺跡、坂長3	
*	調査室			
*	調査室			
*	調査室			
*	調査室		一 熊国道9号(鳥取西道路)の改良に伴う埋蔵文化財調査報第三分冊	
*	調査室		一 熊国道9号(鳥取西道路)の改良に伴う埋蔵文化財調査報第三分冊	
▼観光交流局				
*	交流推進課		平成20年 旅券発給の概要	平成20年
*	交流推進課		平成21年 旅券発給の概要	平成21年
*	交流推進課		平成22年 旅券発給の概要	平成22年
*	交流推進課		平成23年 旅券発給の概要	平成23年
*	交流推進課		平成24年 旅券発給の概要	平成24年
▼教育委員会(事務局)				
*	人権教育課		鳥取県人権教育基本方針-第1次改訂-	※ H24年1)
*	東部教育局		完結いっばい 園・学校ごとのポイント集	

こちらから登録できます!

公文書館がどんな行政刊行物を所蔵しているかは、公文書館HPの『**行政刊行物データベース**』で検索できますのでご覧ください。[公文書館HP → 資料の検索 → 行政・統計刊行物]